

制定日 2016年4月 1日

Safety Data Sheet
安全性データシート

株式会社コベルコ科研
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1
担当部門 ターゲット事業本部技術部
電話番号 079-445-9024
FAX 番号 079-445-9025
緊急連絡先 同上

1. 品名

パラジウム

2. 危険有害性の要約

GHS分類	項 目	Pd
物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	区分外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)
急性毒性(経皮)		分類できない
急性毒性(吸入・ガス)		分類対象外
急性毒性(吸入・蒸気)		分類対象外
急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)		分類できない(粉塵)
急性毒性(吸入・粉塵、ミスト)		分類対象外(ミスト)
皮膚腐食性・刺激性		分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		分類できない
呼吸器感作性		分類できない
皮膚感作性		分類できない
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)		分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)		分類できない
吸引性呼吸器有害性		分類できない
環境に対する有害性		水生環境急性有害性
	水生環境慢性有害性	分類できない
ラベル要素	絵表示又はシンボル	
	注意喚起語	危険
	危険有害性情報	粉末の場合可燃性固体。 粉末や箔状の場合は可燃性があり、炎、高温、酸化剤との接触は危険である。 火災時の加熱によって有害なヒュームを生じる可能性がある。 眼、呼吸器系、皮膚に障害を起すおそれがある。

GHS分類	項 目	Pd
ラベル要素 (続き)	注意書き	<p>【安全対策】 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。</p> <p>【応急措置】 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>【保管】 乾燥した場所又は密閉された容器中で保管すること。</p> <p>【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
	国・地域情報：	-----

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名	・パラジウム
化学式または構造式	Pd
官報公示整理番号 (安衛法、化審法)	-----
CAS番号	7440-05-3
国連分類および国連番号	-----

4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。
吸入した場合	直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診察を受ける。呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。
飲み込んだ場合	意識があるときは吐かせて口の中を水でよく洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の配置消火剤

消火剤	小規模火災では水噴霧（大量注水）、二酸化炭素、ドライケミカル。 ただし、粉末・箔状の本品が多量に燃焼したり、本品が多量に融解している場合は水蒸気爆発の恐れがあるため水の使用、特に棒状注水は禁止。この場合は金属火災用特殊消火剤の使用や乾燥砂、食塩、黒鉛を使用した窒息消火を行う。
火災時の特定危険 有害性	火災時の加熱により金属化合物を含む有害なガスやヒュームを生じうる。 燃焼・溶融している本品に注水すると水蒸気爆発をおこす可能性がある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	必要な保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 微粉末の場合全ての発火源を取除く、また、静電気や静電気を生じる物を避ける。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 風上に留まる
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和:	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策:	作業時に粉塵が舞たないように作業を行う。 微粉末の場合、電気掃除機など電気火花を発生する器具の使用禁止。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	特に粉末は火気、高温から遠ざける。微粉末の場合、粉塵爆発の可能性があるので設備及は火気・スパーク・静電気防止に努める。 吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。 熱源、可燃物、強酸、強酸化剤、ハロゲンと接触させない。
貯蔵	異物混入に注意し、密閉して保管。 乾燥した冷暗所に保管する。 不活性ガスで充填する。(微粉末、箔)

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	-----	
許容濃度	情報がありません	
設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。 安全シャワー、洗眼器を完備する。	
保護具	呼吸用保護具:	吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。
	保護眼鏡:	適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。
	保護手袋:	皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。
	保護衣:	皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	銀白色
沸点:℃	3167℃
蒸気圧:Pa(20℃)	情報が入手できません。
揮発性	情報が入手できません。
融点:℃	1555℃
比重または嵩比重	12.02
溶解度	水%(℃):不溶 その他の溶媒%(℃):
その他	-----

10. 安定性及び反応性

引火点:℃	情報が入手できません。
発火点:℃	590℃
爆発限界: 上限% 下限%	情報が入手できません。
可燃性	情報が入手できません。
発火性(自然発火性・水との反応性)	情報が入手できません。
酸化性	情報が入手できません。
自己反応性・爆発性	情報が入手できません。
粉じん爆発性	有り。
安定性・反応性	強酸化剤、強酸類、ハロゲン類との接触は不可。 ヒ素化合物と激しく反応する。 Al, イソプロピルアルコールと共存しているH ₂ , OF ₂ , S と激しく反応する。 砒素、炭素、オゾンド、テトラヒドロホウ酸ナトリウムと混合してはならない。
その他	-----

11. 有害性情報

腐食性	情報が入手できません。
刺激性(皮膚、眼)	情報が入手できません。
感作性	情報が入手できません。
急性毒性 (50%致死量を含む)	情報が入手できません
亜急性毒性	情報が入手できません。
慢性毒性	情報が入手できません。
がん原性	情報が入手できません。
変異原性 (微生物、染色体異)	情報が入手できません。
生殖毒性	情報が入手できません。
催奇毒性	情報が入手できません。
その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)	情報が入手できません。

12. 環境影響情報

情報が入手できません。

13. 廃棄上の注意

再利用のため回収します。

14. 輸送上の注意

キズが付きやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

15. 適用法令

労働安全衛生法	施行令別表第1危険物 (発火性の物): (微粉末の場合)
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	第2条危険物第2類金属粉
危険物船舶運送及び 貯蔵規則	非該当
PRTR法	非該当

16. その他

その他 (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献等)	記載内容の問い 合わせ先	株式会社コベルコ科研
	引用文献	<ul style="list-style-type: none"> • ACGIH発行TLV_s[®] and BEI_s[®]2005 • 厚生労働省: 職場の安全サイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx • 安全衛生情報センター http://www.jaish.gr.jp/ http://www.nihs.go.jp/ICSC/ 他
	改訂履歴	Rev.0: 新規制定

* 危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません